

「第8回男性介護者ケアの集い」ニュース



令和4年10月25日(火)「第8回男性介護者ケアの集い」を開催しました。

介護をされている男性6人に神原千代子さん(認知症の人と家族の会 長崎県支部代表)も参加されました。

今回は、「認知症の人と家族の会 長崎県支部佐世保地区」開催の研修会で講演される当会員の徳久正喜さんに「認知症の『母と暮らせば』」という題目でお話をいただきました。

徳久さん、母の介護体験を語る

徳久さんは、話の冒頭で母の介護に対して一生懸命に頑張りすぎることをやめて、自分ができる事を精一杯やってきたと振り返る。仕事をしながら、後悔の少ない介護を考え、介護保険などの社会資源を利用し、在宅での介護を16年続けてこられている。介護を通して心に残った親子の会話を3つ紹介されました。

80歳から85歳は、認知症が始まった時期。長年俳句を趣味としてきた母は、自分の頭の中を「春霞のような状態」と表現されたとのことでした。それに対して徳久さんが、「名前を忘れても最後まで面倒を見るから大丈夫だよ」と答えると、母は安堵した表情になり、母がすごく不安な気持ちだったことに気づいたとのことでした。

86歳から90歳は、母が揺らいでいた時期で「まだらボケ」の状態。徳久さんは、ボケてきたことに対して嘆くのではなく、ユーモアをもって対応してきたとのこと。「おかあさん」と言わず、「モトちゃん」と子供の頃の呼び名で言うと、安心して、子供の頃に帰ったようで元気に明るくなったとのことでした。

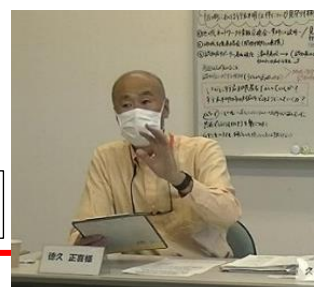
91歳から96歳は、徐々に反応も悪くなっている状態。寒い季節になり、徳久さんが母に「寒くない？」と尋ねた時、「あなたは寒くないの？」と答えてびっくりしたとのこと。相手を思いやる心が残っていたことに気づき、感動したという。認知症になり何でもがわからなくなる、失うばかりではなく、一番大切な思いやりは残っていることが気づけて良かったと話されました。

最後に日頃の様子を動画で紹介されました。毎朝の日課として、母を起こして、赤子をハグするようにお互いにスキンシップをとります。穏やかに声をかけると、母も穏やかに安心している様子で返事をします。自分が、イライラして対応している時には、母も怒ったり機嫌が悪いことが多い。自分の対応の仕方が相手にそのまま反映することに気づき、スキンシップや思いやりのある声かけが重要であると言われました。

徳久さんは、認知症に関する本や映画を見て認知症の知識を学び、母の言動に対して冷静で、専門家の意見もよく聞き、いろいろなサービスを有効に利用して今に至っています。参加者からの意見として「認知症への接し方や考え方は大変勉強になった。

この話は、多くの方に聞いてほしい。自分も以前に比べると穏やかに対応できるようになってきた。この会がもう少し早く始まっていたら、妻への対応が違っていただかもしれない。」など、皆さんとても満足されていました。

講演された徳久さん



もし行方不明になったら、どうするか？

今月、佐々町在住の認知症の方が2人も行方不明者となりました。今回は、無事に発見されましたが、情報が少ない場合は、搜索する側も大変であることを聞きました。行方不明者に対する対策を、参加者の皆さんで考えました。

どこにいるかを探す GPS 発信機を身につけて居場所を探す方法は、持ち歩かなければ役に立たない。身につけさせる方法が難しいとの意見でした。近所の方が見かけたらすぐに声かけして、未然に防ぐことが一番大切ではないかという意見がありました。これまでに3回徘徊し3回とも町内会で発見してもらい、近所の方に連れてきてもらったとのこと。そのためにはまず、認知症であることを近隣の方に知ってもらうことが大切。人と人との結びつきが重要だと確認しました。

地域見守りネットワーク情報交換会について

地域包括支援センターと社会福祉協議会の職員が、各町内会をまわり、地域関係者（町内会長、民生委員、ボランティア住民等）とともに、地域の課題の確認、災害時の避難行動要支援者への支援体制づくり、高齢者で見守りが必要な方の情報共有を行い、家族だけの支援ではなく、町全体で地域住民を支援する体制を整えています。例えば、物忘れがあり、迷子になる可能性がある方には、家族の同意のもと見守り登録をしていただき、もし行方不明になっても搜索がしやすいような取組も行っています。

今回の話し合いには、「認知症の人と家族の会 長崎県支部」代表の神原千代子さんが、参加されました。神原さんは、夫が61歳で若年性アルツハイマー病になり、栄養士の仕事をやめ、夫の介護を自宅で10年されました。自分がうつになり、介護疲れしている時に「認知症の人と家族の会」に参加して救われたことを話されました。長崎県内に「認知症の人と家族の会」が10か所の地域で開催されているとのこと。男性介護者の集いは、佐世保と佐々だけとのこと、これからも地域のつながりを大切に取り組んでもらいたいと激励を受けました。



集いの様子

次回の集いのお知らせ

日時：12月20日（火）10時から12時

場所：健康相談センター

偶数月の第4火曜日に開催しています。

初めての方も気軽にご参加ください。



編集後記

今回は、徳久さんの素晴らしい体験の話聞かせてもらい、大変勉強になりました。来年も多くの方が、参加できるように努めていきたいと思えます。